

3 施工

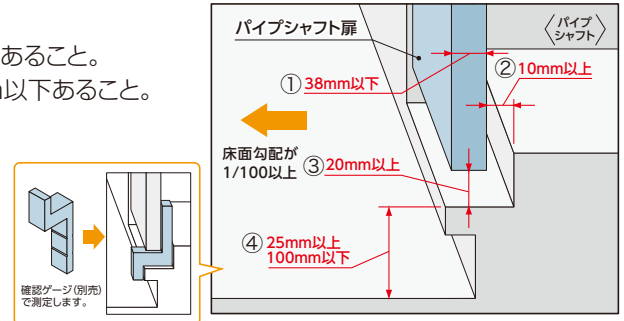
3-1 施工要領 (潜熱回収型ガス給湯器と同時設置の場合)

※給湯器下のドレンホースの設置～ドレン排水ガイドまで、(手順(1)～(9))全部施工する場合は下記手順に従い施工して下さい。

1 施工条件

- ①パイプシャフト扉厚みが38mm以下であること。
- ②パイプシャフト扉の後ろに10mm以上のスペースがあること。
- ③パイプシャフト下枠とシャフト扉間に20mm以上のスペースがあること。
- ④パイプシャフト下枠からFLまでの段差が25mm以上100mm以下であること。
- ⑤床面に1/100以上の勾配があること。
- ⑥パイプシャフトから側溝までの距離が2m以下であること。
- ⑦雨天日は、施工を行わないこと。
- ⑧寒冷地地域、準寒冷地地域には設置できません。

▼パイプシャフト下部拡大図

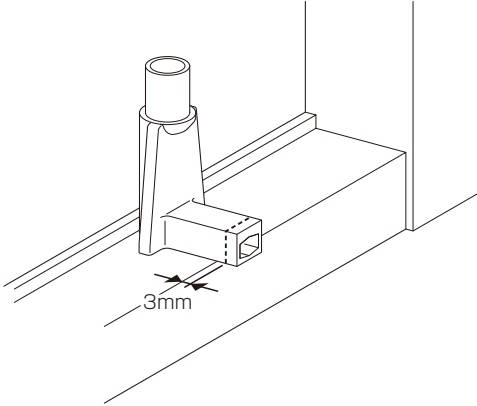
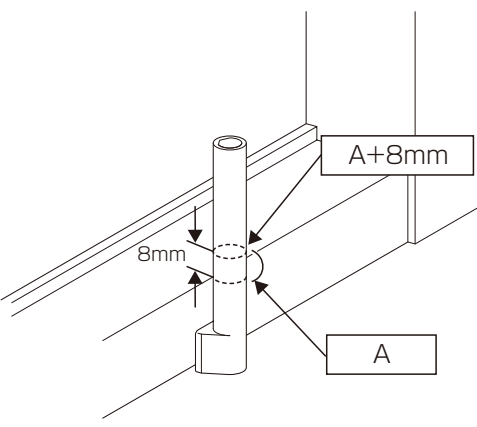
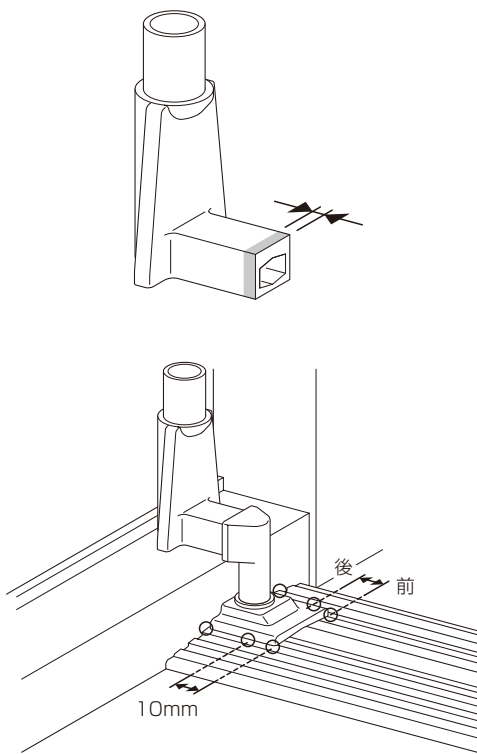


2 施工手順

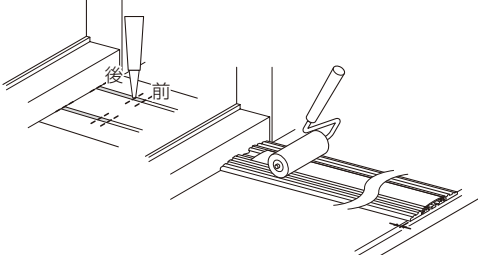
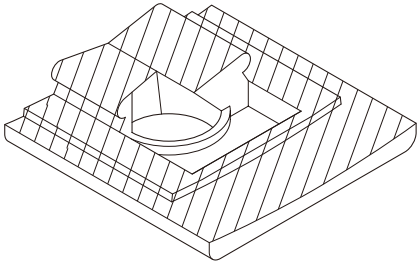
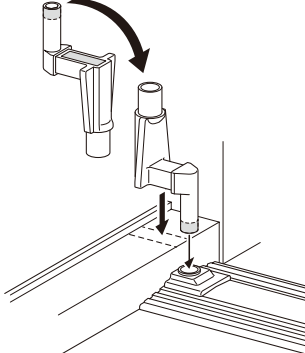
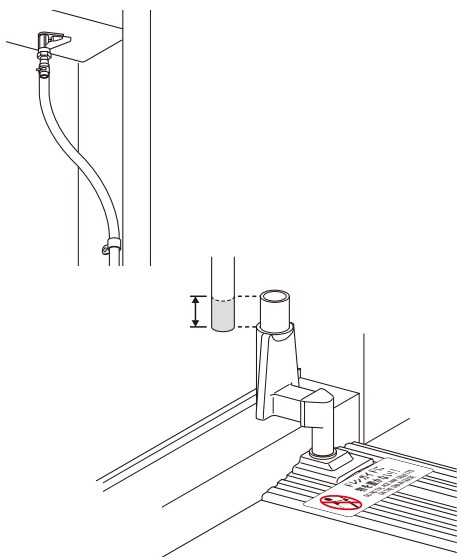
施工を行う際は、施工条件及び関連工事の留意事項と施工上の禁止事項を確認頂き手順に従い施工して下さい。

手順	内容
<p>(1)ドレンガイド蓋付の仮設置</p> <p>PS扉のヒンジ側に寄せた位置にドレンガイド蓋付の敷設位置を決め、仮設置します。</p> <p>ドレンガイド蓋付を廊下幅の長さに合わせ線を入れ、線に沿って切断します。ドレンガイド蓋付の先端に切欠きがある側を側溝側とし、切欠き部を側溝の面位置に合わせて下さい。</p> <div style="border: 1px dashed red; padding: 5px;"> <p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドレン排水ガイドを指定の長さより短く切断してしまったら →新しい製品でやり直して下さい。 </div>	
<p>(2)ドレンガイド蓋付設置位置の下地の確認</p> <p>一旦ドレンガイド蓋付を取り外し、床下地の確認及び処理を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・床面とドレンガイド蓋付接着面のゴミ・サビ・油・塗料などの汚れを取り除きます。 ・平滑な下地であることを確認します。凹凸がある場合は、平滑にする方法を別途ご検討下さい。 ・床面が濡れている場合は乾燥するまで水滴をふき取ります。 	
<p>(3)ドレンガイドの設置</p> <p>ドレンガイド蓋付を仮設置してマスキングテープを貼り、ドレンガイド蓋付を取り外し、設置する床面に指定接着剤を塗布します。接着剤が均一になる様にヘラ(コニシ製接着剤用クシ目ゴテF-1型)を使って均し、ただちにドレンガイド蓋付を貼り合せて下さい。切欠き部が側溝側になるようにして、側溝側から均一に押しつけながら曲がりや捻じれが無いようにして、マスキングテープに沿って床に貼り合せて下さい。</p> <p>※指定の接着剤(コニシ製サイレックス)をご使用ください。</p> <p>※貼付直後は接着剤が柔らかくドレンガイド蓋付が動き易いので、位置ズレに注意して下さい。</p> <p>以降、ドレンガイド蓋付を使用する工程は指で押して動かないことを確認してから施工して下さい。</p> <p>接着剤の固着時間目安は約1時間です。(気象条件によって異なります。)</p>	

3 施工

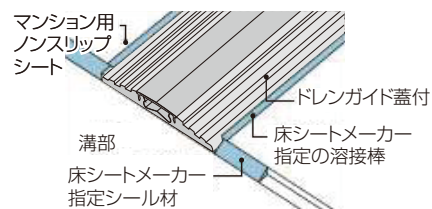
手順	内容
<p>(4)ドレンホルダーの寸法合わせ</p> <p>(4)-1 ドレンホルダーエルボの切断</p> <p>パイプシャフトの枠幅を確認し、ジョイント差込口が3mm程度出る位置に位置調整します。 位置調整ができず、大幅に廊下側へ出てしまう場合、出しろ3mm程度の位置に線を入れ、線に沿って切断します。</p> <p>※切断面にバリが出たら平滑にしてください。 ※短く切断してしまうと、設置出来ない恐れがあります。 よく確認の上切断して下さい。</p> <div style="border: 1px dashed red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>注意</p> <p>・ドレンホルダーエルボを指定の長さより短く切断してしまったら →新しい製品でやり直してください。</p> </div>	
<p>(4)-2 ドレンホルダージョイントの切断</p> <p>手順1: ドレンホルダージョイントを逆さまにしてFLに置き、パイプシャフト下枠と同じ高さの位置「A」に小さな印を付けます。 手順2: 位置「A」より8mm高い位置に切断位置の印をつけその部分を切断して下さい。</p> <p>※床シート併用貼りの場合はA+床シート厚(2.5mm)+8mmで切断して下さい。 ※この手順通りに切断すれば、ドレン排水ガイドにホルダー設置した時寸法が合います。 ※切断面にバリが出たら平滑にしてください。</p> <div style="border: 1px dashed red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>注意</p> <p>・ドレンホルダージョイントを指定の長さより短く切断してしまったら →新しい製品でやり直してください。</p> </div>	
<p>(5)ドレンホルダーの組立てと仮設置</p> <p>ドレンホルダーエルボ接続側の端部に2mm幅程度で塩ビ用接着剤を塗布しドレンホルダージョイントの接続口に差込み固定します。</p> <p>※塩ビ用接着剤ご使用の際は接着剤のご使用方法等を確認してご使用下さい。 接着剤の固着時間についても決められた時間動かさないで下さい。</p> <p>固定したドレンホルダーエルボ・ジョイント、及びドレンホルダーベースを仮設置しドレンガイド蓋付にドレンホルダーベース取付け位置の前後に印をつけ、さらに前の印よりパイプシャフト側へ10mmの位置に、蓋嵌め込み始めの目安の印を付けます。</p> <p>※ドレンホルダーをホルダベースに仮設置した時に必ず、収まりの状況を確認して下さい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)ドレンホルダー背面とPS枠とに隙間が無いか。 2)ドレンホルダー底面とPS枠とに隙間が無いか。 3)ドレンホルダージョイントとドレンホルダーベースとの接続に無理な力がかかっているか。 <div style="border: 1px dashed red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>注意</p> <p>・収まりの一つでも不具合があれば、PSの扉に干渉するなどし製品接着部に負荷がかかり接着部外れの原因となりますので、施工のやり直しをお願いします。</p> </div>	

3 施工

手順	内容
<p>(6) ドレンガイド蓋の設置 一旦ドレンホルダーを取り外します。 指定接着剤同梱のノズルを天面から半メモリ分切断し、接着剤本体に装着します。 (5) でつけたホルダーベース前後の印の間の溝に接着剤を注入してください。 ※注入する際、ノズルを溝に垂直に押し込みながら充分に注入してください。</p> <p>ローラーを使用し、ドレンガイド蓋を蓋はめ込み始めの目安の印からドレンガイド蓋付本体へはめ込みます。</p>	
<p>(7) ドレンホルダーベース接着固定 ドレンホルダーベース裏面の斜線部に指定接着剤を塗布し、ドレンホルダーベース取付け位置の印に合わせてドレンホルダーベースはガイドの上から嵌め込みながら固定します。 このとき蓋はドレンホルダーベース裏面に飲み込まれる形になります。 ※接着剤がドレンホルダーベースの非斜線部に入ると排水性能が低下する恐れがあります。</p> <p>注意 ・ドレンホルダーベースの非斜線部に接着剤が付いた場合。 →新しい製品でやり直してください。</p>	
<p>(8) ジョイント・エルボの設置 ドレンホルダーエルボの底部に指定の接着剤を均一に塗ります。 又、ドレンホルダージョイントの先端に2mm幅で塩ビ用接着剤を塗布します。 パイプシャフト下枠と、ドレンホルダーエルボ底部を接着すると同時に、ドレンホルダージョイント先端をドレンホルダーベースに差込み固定します。 ※接着剤が固着するまで養生テープ等で仮固定して下さい。 ※接続後、改めて切断寸法間違いによる、各部位への負荷が発生していないか確認をお願いします。</p> <p>注意 ・負荷が発生していた場合、ドレンホルダー接着箇所の外れやドレン排水ガイドの接着外れの原因となりますので、施工のやり直しをお願いします。</p>	
<p>(9) ドレンホースの接続寸法合わせ、切断、固定 給湯器のドレン排水口とドレンホース（内径φ13 外径φ16）をドレンホース用継手で接続します。 ドレンホースをパイプシャフト内のヒンジ側の壁に固定します。 ※PS 内壁への固定方法は、3-3 施工上の禁止事項をご確認ください。 ドレンホースが過剰に捻まないようにドレンホルダーエルボの横に並べ、ドレンホルダーエルボ上端の位置でホースに印をつけます。 印より差込み分 20 mm長く切断します。 ※短く切断してしまうと、設置出来ない恐れがありますのでよく確認の上切断して下さい。</p> <p>注意 ・ドレンホースを指定の長さより短く切断してしまったら →新しい製品でやり直してください。</p> <p>ドレンホース先端 20 mmに塩ビ用接着剤を塗布し、ドレンホルダーエルボへ差込み固定します。 ※ドレンホルダーエルボへの接続は斜めから差し込まない様にして下さい。 ドレンホルダー全体に負荷がかかり、接着部の外れの原因となります。 側溝側で余った蓋のみをドレンガイド本体と同じ長さ（面位置）で印をつけ、印に沿って切断して下さい。 ※ドレンホルダーベースに沿って（イラストの位置に）同梱の「ドレンガイドに物を置かない!!!」シールを貼ります。</p>	

**最後にマスキングテープを剥がし、接着剤が固着すれば施工完了です。
 固着後、通水試験（流量目安 60cc/min）を実施し問題なく流水するか確認して下さい。**

※床シート併用貼りの場合は別途織ぎ目処理が必要です。
 詳細はシートメーカーのマニション用ノンスリップシート施工要領書をご参照下さい。



3 施工

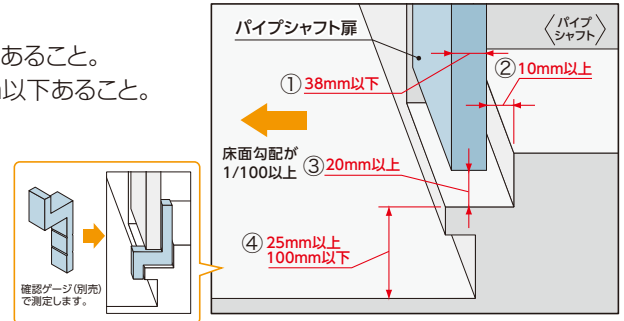
(潜熱回収型ガス給湯器未設時)

※給湯器がまだ設置されておらず、ドレン排水ガイドのみ、先に施工する場合は下記手順に従って施工して下さい。

1 施工条件

- ①パイプシャフト扉厚みが38mm以下であること。
- ②パイプシャフト扉の後ろに10mm以上のスペースがあること。
- ③パイプシャフト下枠とシャフト扉間に20mm以上のスペースがあること。
- ④パイプシャフト下枠からFLまでの段差が25mm以上100mm以下であること。
- ⑤床面に1/100以上の勾配があること。
- ⑥パイプシャフトから側溝までの距離が2m以下であること。
- ⑦雨天日は、施工を行わないこと。
- ⑧寒冷地地域、準寒冷地地域には設置できません。

▼パイプシャフト下部拡大図

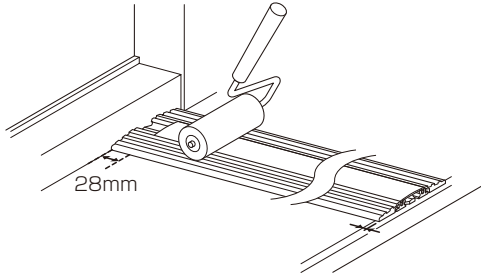
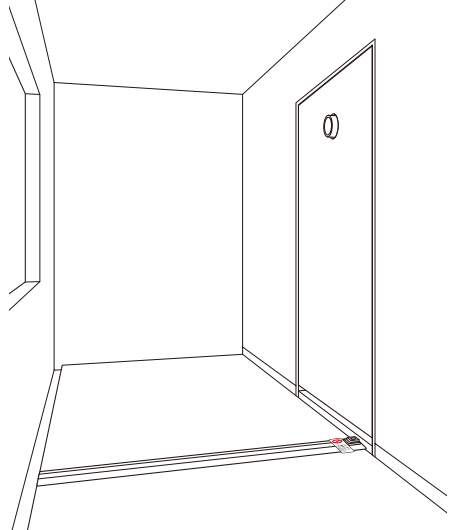
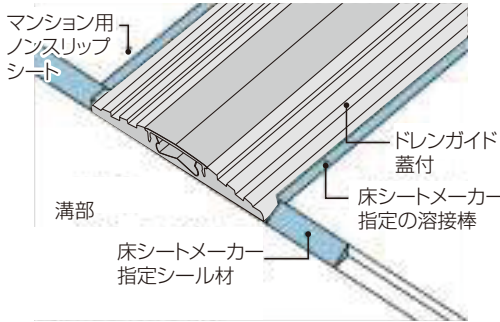


2 施工手順

施工を行う際は、施工条件及び関連工事の留意事項と施工上の禁止事項を確認頂き手順に従い施工して下さい。

手順	内容
<p>(1)ドレンガイド蓋付の仮設置</p> <p>PS扉のヒンジ側に寄せた位置にドレンガイド蓋付の敷設位置を決め、仮設置します。</p> <p>ドレンガイド蓋付を廊下幅の長さに合わせて線を入れ、線に沿って切断します。ドレンガイド蓋付の先端に切欠きがある側を側溝側とし、切欠き部を側溝の面位置に合わせて下さい。</p> <div style="border: 1px dashed red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>注意</p> <p>・ドレン排水ガイドを指定の長さより短く切断してしまったら →新しい製品でやり直してください。</p> </div>	
<p>(2)ドレンガイド蓋付設置位置の下地の確認</p> <p>一旦ドレンガイド蓋付を取り外し、床下地の確認及び処理を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・床面とドレンガイド蓋付接着面のゴミ・サビ・油・塗料などの汚れを取り除きます。 ・平滑な下地であることを確認します。凹凸がある場合は、平滑にする方法を別途ご検討下さい。 ・床面が濡れている場合は乾燥するまで水滴をふき取ります。 	
<p>(3)ドレンガイドの設置</p> <p>ドレンガイド蓋付を仮設置してマスキングテープを貼り、ドレンガイド蓋付を取り外し、設置する床面に指定接着剤を塗布します。接着剤が均一になる様にヘラ(コニシ製接着剤用クシ目ゴテF-1型)を使って均し、ただちにドレンガイド蓋付を貼り合せて下さい。切欠き部が側溝側にくるようにして、側溝側から均一に押しつけながら曲がりや捻じれが無いようにして、マスキングテープに沿って床に貼り合せて下さい。</p> <p>※指定の接着剤(コニシ製サイレックス)をご使用ください。</p> <p>※貼付直後は接着剤が柔らかくドレンガイド蓋付が動き易いので、位置ズレに注意して下さい。</p> <p>以降、ドレンガイド蓋付を使用する工程は指で押して動かないことを確認してから施工して下さい。</p> <p>接着剤の固着時間目安は約1時間です。(気象条件によって異なります。)</p>	

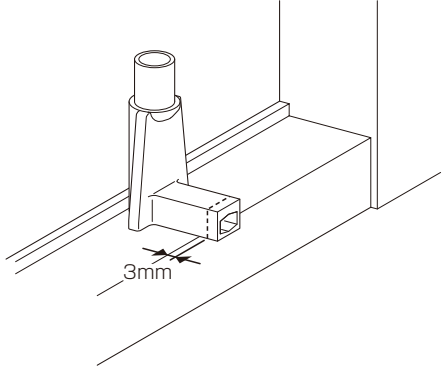
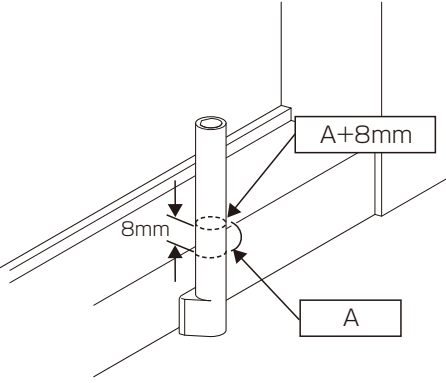
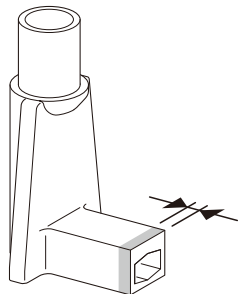
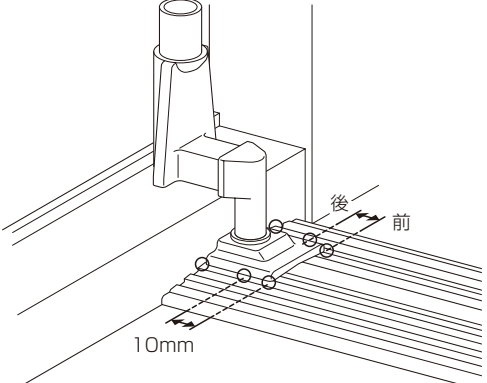
3 施工

手順	内容
<p>(4)ドレンガイド蓋の設置 パイプシャフトから28mm程度の位置からドレンガイド蓋をドレンガイド付本体へローラーを使って嵌め込みます。</p>	
<p>(5)ドレンホルダーベースの仮固定、ドレンガイド蓋の切断 ドレンホルダーベースをドレンガイドの蓋のない部分に上から嵌め込んで下さい。 このとき蓋はドレンホルダーベース裏面に飲み込まれる形になります。</p> <p>側溝側で余った蓋のみをドレンガイド本体と同じ長さ（面位置）で印をつけ、印に沿って切断します。</p> <p>※ドレンホルダーベースに沿って（イラストの位置に）同梱の「ドレンガイドに物を置かない!!!」シールを貼ります。</p>	
<p>(6) ドレンホルダーベースの養生 専用のキャップをドレンホルダーベースの差込口にかぶせます。 ※給湯器が設置されるまでキャップは外さないで下さい。</p>	
<p>最後にマスキングテープを剥がし、接着剤が固着すれば施工完了です。 固着後、通水試験(流量目安60cc/min)を実施し問題なく流水するか確認して下さい。</p>	
<p>※床シート併用貼りの場合は床シートとドレンガイド蓋付との間に別途継ぎ目処理が必要です。 詳細はシートメーカーのマンション用ノンスリップシート施工要領書をご参照下さい。</p>	

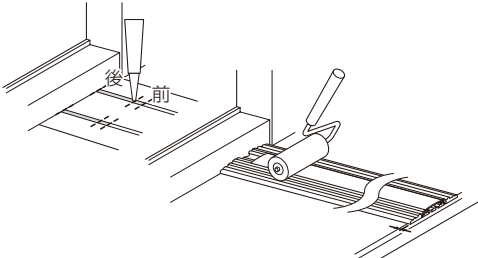
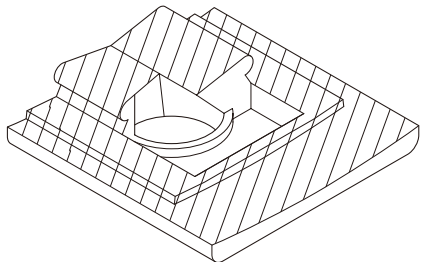
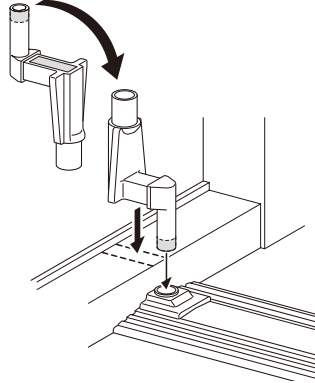
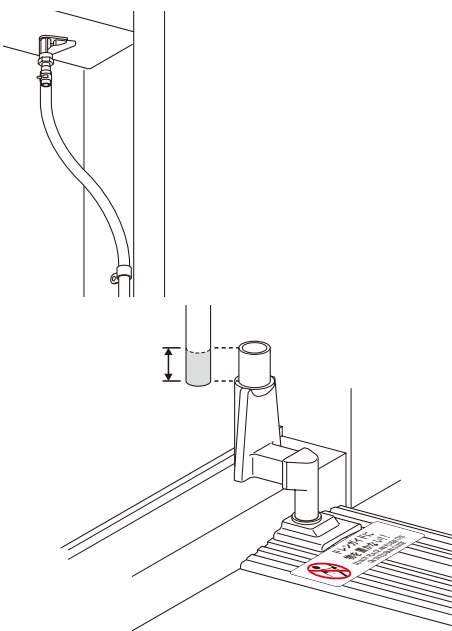
3 施工

給湯器設置時

※ドレンホルダーベース下部にINのマークがあるか確認して下さい。
 ※ドレンホルダー施工前にドレン排水ガイドに異常がないか必ず確認して下さい。

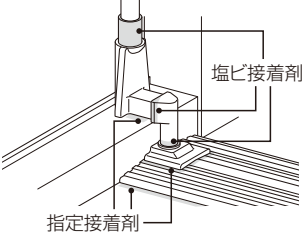
手順	内容
<p>(7)ドレンホルダーの寸法合わせ</p> <p>(7)-1 ドレンホルダーエルボの切断</p> <p>パイプシャフトの枠幅を確認し、ジョイント差込口が3mm程度出る位置に位置調整します。</p> <p>位置調整ができず、大幅に廊下側へ出てしまう場合、出しろ3mm程度の位置に線を入れ、線に沿って切断します。</p> <p>※切断面にバリが出たら平滑にしてください。</p> <p>※短く切断してしまうと、設置出来ない恐れがあります。</p> <p>よく確認の上切断して下さい。</p> <div style="border: 1px dashed red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>注意 ・ドレンホルダーエルボを指定の長さより短く切断してしまったら →新しい製品でやり直して下さい。</p> </div> <p>(7)-2 ドレンホルダージョイントの切断</p> <p>手順1: ドレンホルダージョイントを逆さまにしてFLに置き、パイプシャフト下枠と同じ高さの位置「A」に小さな印を付けます。</p> <p>手順2: 位置「A」より8mm高い位置に切断位置の印をつけその部分を切断して下さい。</p> <p>※切断面にバリが出たら平滑にしてください。</p> <p>※床シート併用貼りの場合はA+床シート厚(2.5mm)+8mmで切断して下さい。</p> <p>※この手順通りに切断すれば、ドレン排水ガイドにホルダー設置した時寸法が合います。</p> <p>※短く切断してしまうと、設置出来ない恐れがありますのでよく確認の上切断して下さい。</p> <div style="border: 1px dashed red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>注意 ・ドレンホルダージョイントを指定の長さより短く切断してしまったら →新しい製品でやり直して下さい。</p> </div>	 
<p>(8)ドレンホルダーの組立てと仮設置</p> <p>ドレンガイド蓋とドレンホルダーベースを一度取り外して下さい。</p> <p>ドレンホルダーエルボ接続側の端部に2mm幅程度で塩ビ用接着剤を塗布しドレンホルダージョイントの接続口に差込み固定します。</p> <p>※塩ビ用接着剤ご使用の際は接着剤のご使用方法等を確認してご使用下さい。</p> <p>接着剤の固着時間についても決められた時間動かさないで下さい。</p> <p>固定したドレンホルダーエルボ・ジョイント、及びドレンホルダーベースを仮設置しドレンガイド蓋付にドレンホルダーベース取付け位置の前後に印をつけ、さらに前の印よりパイプシャフト側へ10mmの位置に、蓋嵌め込み始めの目安の印をつけます。</p> <p>※ドレンホルダーをホルダベースに仮設置した時に必ず、収まりの状況を確認して下さい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)ドレンホルダー背面とPS枠とに隙間が無いか。 2)ドレンホルダー底面とPS枠とに隙間が無いか。 3)ドレンホルダージョイントとドレンホルダーベースとの接続に無理な力がかかっていないか。 <div style="border: 1px dashed red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>注意 ・収まりの一つでも不具合があれば、PSの扉に干渉するなどし製品接着部に負荷がかかり接着部外れの原因となりますので、施工のやり直しをお願いします。</p> </div>	 

3 施工

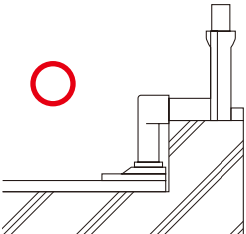
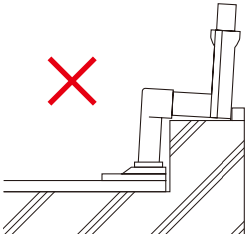
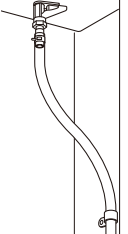
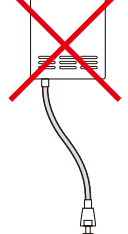
手順	内容
<p>(9) ドレンガイド蓋の設置 一旦ドレンホルダーを取り外します。 指定接着剤同梱のノズルを天面から半メモリ分切断し、接着剤本体に装着します。 (5) でつけたホルダーベース前後の印の間の溝に接着剤を注入してください。 ※注入する際、ノズルを溝に垂直に押し込みながら十分に注入してください。</p> <p>ローラーを使用し、ドレンガイド蓋を蓋はめ込み始めの目安の印からドレンガイド蓋付本体へはめ込みます。</p>	
<p>(10) ドレンホルダーベース接着固定 ドレンホルダーベース裏面の斜線部に指定接着剤を塗布し、ドレンホルダーベース取付け位置の印に合わせてドレンホルダーベースはガイドの上から嵌め込みながら固定します。 このとき蓋はドレンホルダーベース裏面に飲み込まれる形になります。 ※接着剤がドレンホルダーベースの非斜線部に入ると排水性能が低下する恐れがあります。</p> <p>注意 ・ドレンホルダーベースの非斜線部に接着剤が付いた場合。 →新しい製品でやり直してください。</p>	
<p>(11) ジョイント・エルボの設置 ドレンホルダーエルボの底部に指定の接着剤を均一に塗ります。 又、ドレンホルダージョイントの先端に2mm幅で塩ビ用接着剤を塗布します。 パイプシャフト下枠と、ドレンホルダーエルボ底部を接着すると同時に、ドレンホルダージョイント先端をドレンホルダーベースに差込み固定します。 ※接着剤が固着するまで養生テープ等で仮固定して下さい。 ※接続後、改めて切断寸法間違いによる、各部位への負荷が発生していないか確認をお願いします。</p> <p>注意 ・負荷が発生していた場合、ドレンホルダー接着箇所の外れやドレン排水ガイドの接着外れの原因となりますので、施工のやり直しをお願いします。</p>	
<p>(12) ドレンホースの接続寸法合わせ、切断、固定 給湯器のドレン排水口とドレンホース（内径φ13 外径φ16）をドレンホース用継手で接続します。 ドレンホースをパイプシャフト内のヒンジ側の壁に固定します。 ※PS 内壁への固定方法は、3-3 施工上の禁止事項をご確認ください。 ドレンホースが過剰に撓まないようにドレンホルダーエルボの横に並べ、ドレンホルダーエルボ上端の位置でホースに印をつけます。 印より差込み分 20 mm 長く切断します。 ※短く切断してしまうと、設置出来ない恐れがありますのでよく確認の上切断して下さい。</p> <p>注意 ・ドレンホースを指定の長さより短く切断してしまったら →新しい製品でやり直してください。</p> <p>ドレンホース先端 20 mm に塩ビ用接着剤を塗布し、ドレンホルダーエルボへ差込み固定します。 ※ドレンホルダーエルボへの接続は斜めから差し込まない様にして下さい。ドレンホルダー全体に負荷がかかり、接着部の外れの原因となります。 ※「ドレンガイドに物を置かない!!」シールが貼ってあることを確認し、はがれていたら再度貼って下さい。 最後に、側溝側で余った蓋のみをドレンガイド本体と同じ長さ（面位置）で印をつけ、印に沿って切断して下さい。</p>	

3 施工

3-2 施工上及び関連工事の留意事項

製品施工に関して	接着施工に関して
<ul style="list-style-type: none"> ①ドレン排水ガイド及びホルダー内に異物の不着等、異常がないか確認して下さい。 ②床面の勾配を測る際は、水平器を用いて1/100以上あるか確認して下さい。 ③ドレン排水ガイドの途中に不陸があると、排水出来ません。確認の上施工して下さい。 ④施工時、薬剤等が製品に付着しない様ご注意ください。 ⑤つまずきの原因となりますので、施工後は蓋が閉まっていることを確認して下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> ①接着剤塗布後は、直ぐに貼り付け施工して下さい。 ②床面とドレン排水ガイド接着面のゴミ、サビ、油、塗料などの汚れを取り除き、床面はよく乾燥させてから施工して下さい。 ③接着剤が製品の流水路に付着しない様に施工して下さい。 ④ドレンホルダーベースをドレン排水ガイドに接着施工する際真上から押し込んで下さい。 ⑤接着剤の塗り斑があると不陸が発生する可能性がありますのでご注意ください。 ⑥接着剤の硬化時間は「コニシ製サイレックス」箱に記載の硬化時間を確認して施工して下さい。 ⑦接着剤を均す際は指定のヘラを使用して下さい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ドレン排水ガイドが認知しやすいようにする必要がある場合は部材と床仕上げ材の明度差、輝度差に留意し施工して下さい。 ・共用廊下の意匠性、歩行の安全性確保等の確認、及びドレン排水ガイドと床仕上げ材との配色について留意し、施工して下さい。 ・施工後すぐにドレン排水が必要な給湯器を設置しない等、ドレンガイドをご使用にならない場合は、ゴミ等が入らないように、別売のキャップをドレンホルダーベース穴に取付けるなどして養生して下さい。 ・各接着箇所適切な接着剤を使用して下さい。 <div style="text-align: right;">  </div>	

3-3 施工上の禁止事項

製品施工に関して	接着施工に関して
<ul style="list-style-type: none"> ①ドレン排水ガイドの蓋と本体(ベース)は接着剤等で接合しないで下さい。(P.7(6)、P.11(10)の施工手順を除く) ②霏雨気温湿度が常時高温多湿(40℃/80%以上)となる環境下では使用しないで下さい。 ③排水路をカッター等で傷つけないで下さい。 ④製品を座屈させないで下さい。 ⑤ドレン排水ガイドは継ぎ足し施工は出来ません。必ず1本の製品で施工して下さい。 ⑥施工後製品に無理な荷重をかけないで下さい。 ⑦寒冷地地域、準寒冷地地域には設置できません。 	<ul style="list-style-type: none"> ①指定の接着剤以外は使用しないで下さい。 ②ドレンホルダーベースをドレン排水ガイドに接着固定する際、スライドさせずに必ず真上から押し込んで下さい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ドレンホルダーエルボに、ドレンホースを真横または斜めから差し込むことのないよう施工して下さい。 ※ドレンホース用継手取付部の直下でなく、出来るだけ左右にホースを振って、エスコ社製16mmケーブルクランク『EA947F-16』などの片サドルを1ヶ所、ホース逆勾配にならない範囲で高い位置で、PS内壁に固定するなどの処置をして下さい。 ドレンガイド蓋付の設置位置は、そこからまっすぐホースが下りてくる位置として下さい。 ・ドレンホルダージョイント差入口がパイプシャフト枠に乗らないように施工して下さい。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">     </div>	

3-4 使用上の留意事項

<ul style="list-style-type: none"> ・製品に破れ、傷等発見した場合はただちに使用を中止し交換して下さい。 ・ドレンガイド蓋付上に汚れや埃が見受けられる場合、柔らかい布等を用いて拭き取って下さい。 ・ドレン水が流れづらいときは蓋を取り外し、柔らかい布等で拭き取り、再びローラーで蓋を嵌め込んで下さい。このとき蓋は排水側からパイプシャフト側へ向かって外して下さい。 またドレンホルダーベース付近は接着剤で固定されているので蓋を取外さないで下さい。 ・ドレンガイド蓋付内で凍結してドレン水が流れない場合は、蓋を外しお湯をかけて解凍して下さい。 ・60℃以上の温水を流さないで下さい。
